\ kintoneで /

芋づる解決

製造業の業務効率化

事例BOOK

kintone キントーン

キントーンで広げる 製造業の業務改善マップ

情報共有で部門間の
コミュニケーションもできそうだ

kintoneに登録しておけば
履歴を探す手間も省けるね

サプライチェーン

営業部門

情報共有

- 案件管理
- 納期管理
- クレーム管理
- 図面、各種資料共有
- フォーキャスト管理

履歴管理

- 価格履歴
- 図面履歴管理
- クレーム対応履歴
- フォーキャストバージョン管理

集計業務

- 売上集計
- 予実管理

生産管理部門

情報共有

- 生産進捗管理
- 受注 / 出荷管理
- 出来高管理
- 生産計画と実績
- 外注管理

履歴管理

- 生産計画のバージョン管理
- 生産能力の履歴管理

集計業務

- 生産能力検証
- 生産計画と実績の集計

購買部門

情報共有

- 発注業務 / 納期管理
- EOL材料リスト
- サプライヤー管理

履歴管理

- 価格改定管理
- 発注プロセス履歴

集計業務

- 購買量分析
- 材料コストダウンの結果集計

設計・製造

設備技術部門

情報共有

- 設備導入スケジュール
- 設備発注
- 設備能力の共有

履歴管理

- 設備点検
- 設備トラブル履歴

集計業務

- 設備不具合数の集計
- 設備能力

設計部門

情報共有

- 図面管理
- 外観基準書
- 仕様書
- BOM管理

履歴管理

- 試作履歴
- 4M変更
- 図面履歴
- コスト予実

集計業務

- DFM帳票出力
- 原価低減活動
- リソース集計

安全環境部門

情報共有

- 環境資料作成依頼
- ヒヤリハット集
- 安全対策管理

履歴管理

- 安全巡回履歴
- 研修受講管理

集計業務

- ヒヤリハット集計
- 災害発生集計

製造部門

情報共有

- 製造計画 / 実績
- 製造進捗管理

履歴管理

- 製造指示書の改訂履歴
- 工程別作業改善履歴
- 金型治具の使用履歴

集計業務

- 人員計画の作成 / 集計

品質

品質管理・品質保証部門

情報共有

- クレーム管理
- 不具合等の周知
- クレーム対策報告

履歴管理

- 信頼性試験履歴
- サプライヤ監査
- 顧客監査履歴
- IQC履歴
- QC工程図管理
- 4M履歴

集計業務

- 検査成績書
- クレーム発生件数集計

生産技術部門

情報共有

- 歩留情報
- 不具合報告

履歴管理

- 改善履歴
- 工程条件の変更履歴

集計業務

- 項目別不良集計
- 歩留集計

研究・知財

研究開発部門

情報共有

- アイデア共有
- 試作品スケジュール管理
- 生産管理部との連携

履歴管理

- 試験結果
- 図面管理

集計業務

- 試作品の歩留集計
- 特許申請数

知的財産部門

情報共有

- 知財権利化依頼
- 弁理士とのやりとり
- 契約締結時の知財条項の共有

履歴管理

- 知財管理

集計業務

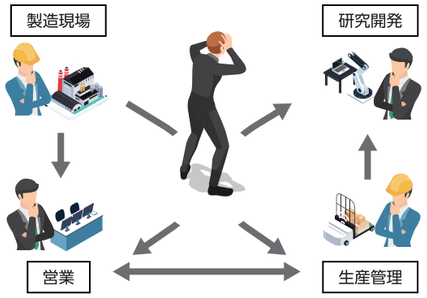
- 特許申請数の集計

製造業の課題を解決する kintone活用４大メリット

メリット1 部門や拠点を越えた情報共有もスムーズに

BEFORE

部署間や外部業者との情報伝達に時間が掛かる



部署間、外部業者とのやりとりが頻繁に発生するので、
情報伝達に時間がかかり作業が非効率になってしまう。
情報の行き違いが起こるリスクも。

AFTER

リアルタイムで情報をkintoneに集約

メールや電話を介さず、効率的に情報共有ができる。
情報の更新もリアルタイムなので、
急な状況変化にも情報の行き違いなく対応できる。

メリット2 履歴管理でトレーサビリティを確立

BEFORE

過去の履歴を探すのに時間が掛かる

各情報の履歴をばらばらに管理しており、
探す時間がかかっている。

AFTER

kintoneさえあれば欲しい情報にアクセスできる

kintoneで各情報の一元管理を実現。
検索するだけでほしい情報がすぐわかる。

メリット3 集計業務を自動化し、作業効率UP

BEFORE

データの集計作業に時間が掛かる

さまざまなデータの検索や、Excelや紙での集計作業に
多大な時間がかかってしまう。

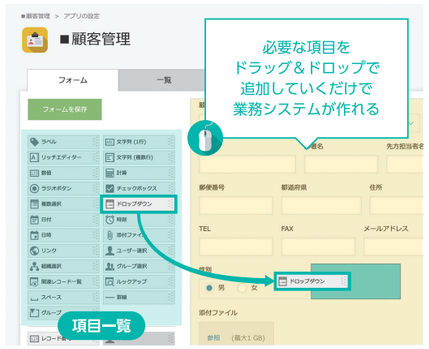
AFTER

kintoneなら ワンクリックで集計

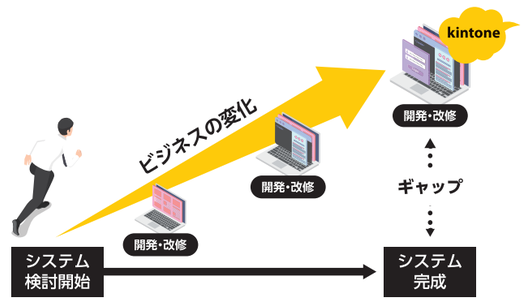
kintoneにデータを登録しておけば、自動で集計可能。
ワンクリックでほしいグラフが表示できる。

メリット4 さらに、kintoneなら 現場主導でスピーディーな業務改善が可能

現場がほしい業務システムを誰でもかんたんにデザインできるので、
IT部門に負担をかけることなく、ビジネスの変化にあわせてスピーディーな業務改善を実現できる。



kintoneの場合、ビジネスの変化にあわせて柔軟に形を変えられる。



従来型の手順を重視したシステムの場合、システム完成がビジネスの変化に間に合わない。

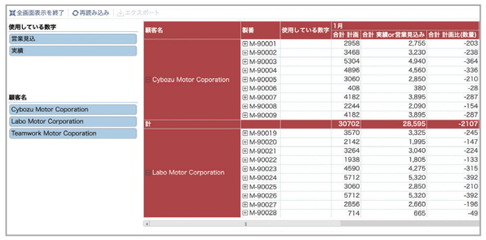
部署別活用例　kintoneで活用用途を広げよう

kintoneは各部署のデータを一元管理することができるため、
二重入力や正しい情報を探すコストを大きく減らすことができます。
また登録したデータに対しての自動集計も可能です。各部署での活用例を一部をご紹介します。

サプライチェーン

営業部門

見込み数量/フォーキャスト・実績集計



顧客名	製番	使用している数字	1月 合計 計画	合計 実績or営業見込み	合計 計画比(数量)
Cybozu Motor Coporation	M-90001		2958	2,755	-203
	M-90002		3468	3,230	-238
	M-90003		5304	4,940	-364
	M-90004		4896	4,560	-336
	M-90005		3060	2,850	-210
	M-90006		408	380	-28
	M-90007		4182	3,895	-287
	M-90008		2244	2,090	-154
	M-90009		4182	3,895	-287
計			32702	28,595	-2,107
Labo Motor Corporation	M-90019		3570	3,325	-245
	M-90020		2142	1,995	-147
	M-90021		3264	3,040	-224
	M-90022		1938	1,805	-133
	M-90023		4590	4,275	-315
	M-90024		5712	5,320	-392
	M-90025		3060	2,850	-210
	M-90026		5712	5,320	-392
	M-90027		2856	2,660	-196
	M-90028		714	665	-49

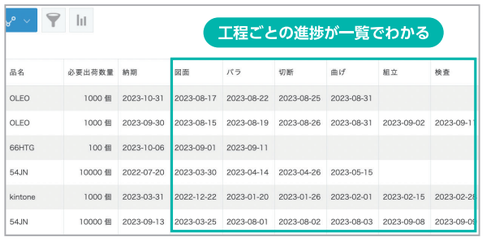
使用している数字：営業見込 / 実績
顧客名：Cybozu Motor Coporation / Labo Motor Corporation / Teamwork Motor Corporation

得意先から取得したフォーキャスト情報をkintoneに
Excelでインポートすることが可能です。
そのフォーキャスト情報と計画と実績を自動で集計する
ことで簡単に売り上げ見通しを出すことができます。
顧客軸・製品軸で予実分析が可能です。
また、自部署でも他部署でも共有することで、次のアク
ションをスムーズに行えます。

※本画面は連携サービス「krewDashboard」を利用しています。

生産管理部門

生産進捗管理



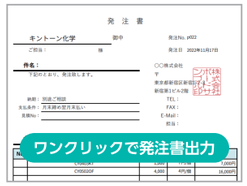
品名	必要出荷数量	納期	図面	バラ	切断	曲げ	組立	検査
OLEO	1000 個	2023-10-31	2023-08-17	2023-08-22	2023-08-25	2023-08-31		
OLEO	1000 個	2023-09-30	2023-08-15	2023-08-19	2023-08-26	2023-08-31	2023-09-02	2023-09-1
66HTG	100 個	2023-10-06	2023-09-01	2023-09-11				
54JN	10000 個	2022-07-20	2023-03-30	2023-04-14	2023-04-26	2023-05-15		
kintone	1000 個	2023-03-31	2022-12-22	2023-01-20	2023-01-26	2023-02-01	2023-02-15	2023-02-2
54JN	10000 個	2023-09-13	2023-03-25	2023-08-01	2023-08-02	2023-08-03	2023-09-08	2023-09-0

生産の進捗状況を顧客/製品別に共有できます。
営業が受注数量や納期を登録し、生産管理/製造部が進捗
状況を登録していくことで製品納期のやり取りをスムー
ズに行えます。

購買部門

発注業務/納期管理

マスタを参照しながら手入力による入力ミス防止、
1クリックで帳票出力まで作業の手間を削減できます。



※帳票出力は別途プラグインが必要です

サプライヤー管理/調査

価格の改定履歴や背景を残しておくことができるので
発注作業や担当への引き継ぎがスムーズになります。

		部署名	担当者名	住所
原料	S014	キントーン化学	営業部	中村 優	神奈川県小田原市…
商社	S013	サイボウズ商事	営業部	前原 勇	兵庫県神戸市須磨…
商社	S012	サトウ電気工業	営業部	岩沢 友也	熊本県阿蘇市××××
部品	S011	下松工業	営業部	松野 有海	栃木県宇都宮市××
部品	S010	CYB	営業部	尾崎 翔博	栃木県宇都宮市××
部品	S009	OFFICE	営業部	吉沢 獅童	静岡県熱海市××××
部品	S008	メルワイ電子	営業部	米沢 沙知絵	神奈川県小田原市…
商社	S007				京都府京都市××××

サプライヤの関連情報含めて一元管理できるので
過去情報を追いやすくなります。

設計・製造

設計部門

図面管理

営業、設計、CAD部隊にてそれぞれ
図面、日付、変化点を記録できます。

対応状況	メモ(製番更新理由etc)		
(CAD)対応中			
設計担当者		CAD担当者	
南崎 健太郎		酒本 健太郎	
図面データ	CADデータ	関連資料	
H21_OilPan.pdf (56 KB)			

変更履歴

送受信日	メモ	図面
2023-06-16	初版	H05_Con_rod.pdf (80 KB)

4M変更管理

4M変更時における各種資料と
進捗管理を顧客/生産品目毎に管理できます。

変更箇所	Material		
変更内容の詳細	コスト低減のため、材料調達先を変更します。	参考資料	添付プレゼン資料.pptx (0 bytes)
想定リスク	材料変更により物性が変わるリスクあり。		
最終図面	H21_OilPan.pdf (56 KB)	4M変更レポート	

資料一覧

資料種類	添付ファイル	メモ	ユーザー選択	資料納期
信頼性試験結果	添付Excel資料.xlsx (8 KB)	恒温恒湿試験結果85/85/100h	品質部/十文字	2023-09-11
QC工程図	QC工程図.xlsx (6 KB)		品質部/九条	2023-10-27
外観基準書	外観基準書.pdf (38 KB)		検査設備部/八神	2023-09-29

製造部門

金型管理

金型に関する書類、交渉/メンテナンス履歴、移動履歴を
一元管理でき、トレーサビリティ強化に繋がります。

不具合報告

タブレットを使用すれば現場から即座に報告できるので
不具合を素早く正確に把握することが可能です。

設計・製造

安全環境部門

ヒヤリハット集

社内独自のヒヤリハットの登録・編集・検索ができます。
通知機能で関係者に周知を促すことも可能です。

安全対策管理

災害事故発生時の対策報告作成から、
レポート提出、傾向分析までの作業を効率化できます。

設備技術部門

設備導入スケジュール

関連部署との長期に渡るスケジュールを共有し、
工程ごとにリマインドを送ることも可能です。

設備メンテナンス履歴

メンテナンス履歴を追えるので、
不具合があった際にすぐに確認できます。

品質

品質管理・品質保証部門

不具合対策管理

製品の不具合発生時に
顧客へ対策報告する内容を社内へ共有できます。
不具合対策の内容を上司に申請し、
上司が内容を確認して承認することも可能です。

信頼性試験管理

信頼性試験結果の内容を
試作品に紐づけて記録できます。

監査対応

お客様などの社外関係者が
工場を監査する時に使用するアプリです。
来訪者情報、タイムテーブル、監査資料などを
ひとつの場所に取りまとめることができます。

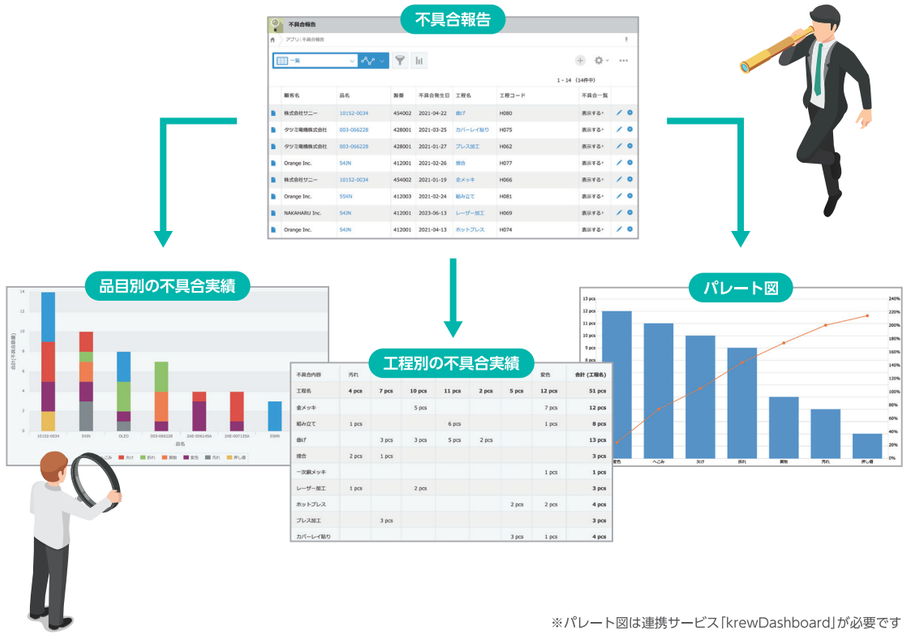
検査成績書

検索項目を自由に設定できるため、
簡単に対象情報を検索できます。
リアルタイムで検査結果が共有されるため、
不合格理由の分析、対応を迅速に行えます。

生産技術部門

項目別不良集計/歩留集計

日々の不具合をkintoneに記録するだけで、全体の不具合発生常用が可視化することが可能です。
集計作業の手間がなくなり、不具合報告や原因分析がスムーズになります。
kintoneに登録している不具合情報を工程や品目、時期別に絞り込むことができるので、
品目別や工程別の不具合発生状況を簡単に分析できます。



※パレート図は連携サービス「krewDashboard」が必要です

研究・知財

研究開発部門

試作品スケジュール

試作品ごとのスケジュールを
登録・共有することが可能です。

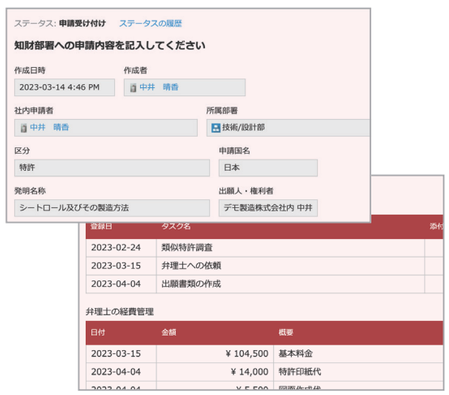
市場ニーズの把握

営業から入手した市場ニーズの情報を
登録・共有ができます。

知的財産部門

知財権利化依頼

知財部門への依頼を受け付け、
申請タスクや、経費をまとめて管理できます。



知財管理データベース

権利取得後の情報を一元管理できます。
期限が近づくと通知でリマインドが可能です。

情報共有基盤としての活用事例

三菱重工業株式会社

**スピーディーな業務システムの
開発・業務改善に貢献**

業務内容

機械、建設機械、航空機、船舶、防衛機器の
製造・販売

利用用途

社内ポータル、案件管理、問い合わせ管理、
台帳管理、備品管理、コミュニケーション

課題 事業部門が迅速かつ負担なく業務基盤を整備できる仕組みを

事業の収益性向上のため、デジタル化による従業員の業務改善および、顧客エンゲージメント向上を目指すプロジェクトが始まった。
従来は、業務上の課題が顕在化していても改善に向けた取り組みに踏み出すまでの負担が大きく、我慢を強いられることで前に進まない状況も散見されていた。
そんな負の連鎖を断ち切れるような環境づくりとして、迅速かつ負担なく業務基盤を整備できる仕組みを求めた。

選定 開発のしやすさとコストでkintoneが高評価に

事業本部のメンバーに触れてもらいながら検討を重ね、柔軟に開発できるkintoneの魅力について、現場も含めて納得感が得られたことが大きなポイントだった。
機能面では、海外のシステムと比較してもkintoneでも十分に実現できることがわかり、コストを比較してみると雲泥の差だった。
現場と話をしながら短期間のうちに改善していけるメリットも考慮し、事業本部側でも納得した形でkintoneを採用した。

効果 内製化が促進され顧客・従業員とのエンゲージメントを改善

顧客による自己解決を促すためのポータルサイトはkintone導入からわずか3ヶ月で構築され、日々改善を続けながらも問い合わせ管理の一元化と顧客接点強化につながっている。業務改善領域では従業員の身近な業務をそのままデジタル化し、現場に展開している。最初から100%の完成度を目指さず、完成度50～60%のものを数日で作成し早く改善を進めている。わずか2ヶ月で40弱のアプリを作成するというスピード感で現場にkintoneを浸透させることに成功している。

一般的なシステム

- ひとつの業務をデジタル化するにも多くの時間とコストがかかる
- デジタル化が遅れ、従業員や顧客満足度が低くなる

要する期間は **数ヶ月～数年**

kintone

- システムの構築/改修スピード が上がり、構築コスト/改修コストは下がる
- あらゆる業務のデジタル化/改善スピードが劇的に向上し、従業員や顧客満足度が向上する

要する期間は **数日～数週間**

調達部門のデータ収集・分析基盤としての活用事例

日産自動車株式会社

**グローバルな調達部門の
ミッションを支援**

業務内容

自動車の製造、販売および関連事業

利用用途

基幹システムから取り出した情報を
活用したGlobalでの調達活動推進サポート

課題 情報はあるが比較・分析する基盤が不十分

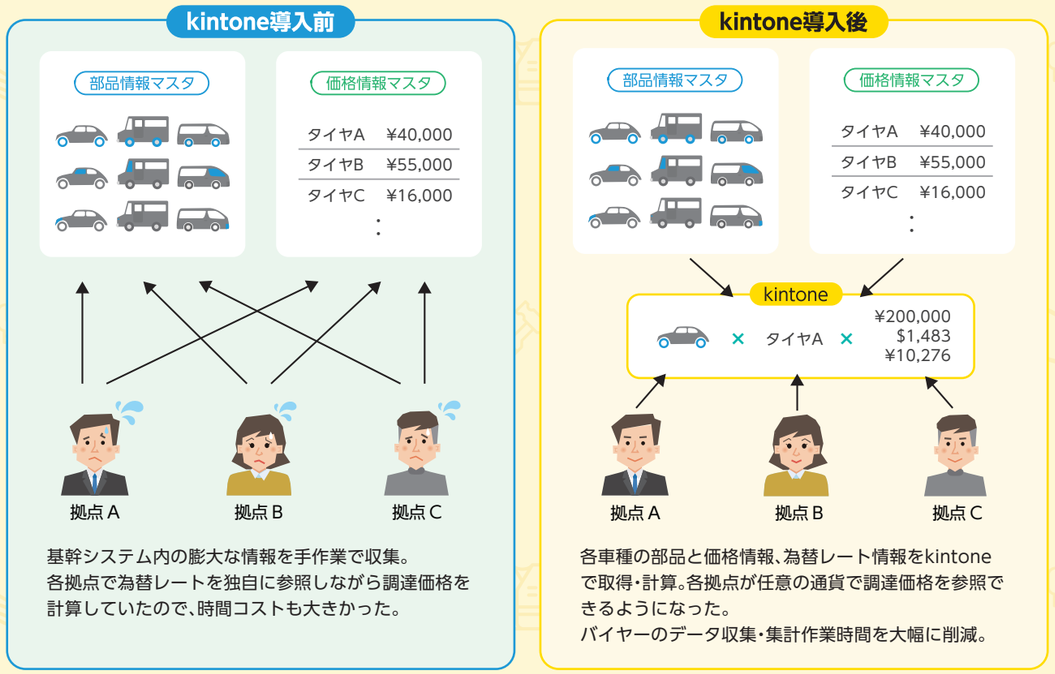
日産自動車の生産がグローバルに拡大する中、部品の調達も複数国にまたがっている。基幹システム内には情報がすべてそろっているものの、各国で調達している部品の価格情報を車種やカテゴリごとに比較できるような仕組みは十分に備わっていない状況だった。
同じアウトプットを行うにもバイヤーによって情報を取得/加工する手法が属人化してしまい、本来期待される調達活動の前段で、多くの工数をかけてしまうこともあった。

選定 環境変化に対応できる柔軟性とコストパフォーマンス

社内でこの仕組みを構築しようとすると、大規模なシステム改修が必要となり、要望に応じた時期での対応が困難だった。
永久普遍的に変わらない仕事やプロセスは基幹システムで実現し、環境変化に柔軟に対応するための仕組みは、外部のソリューションを活用するという使い分けができないかと以前より考えていた。kintoneであれば自分たちで容易に仕組みを構築し、項目の追加も容易に行えた。フレキシブルな仕組みとして使えるのではと考えた。

効果 工数削減に寄与しながら属人化も解消

今回構築したのは、車種ごとの部品情報を管理するシステムと価格情報を管理するシステムという2つの基幹システムからデータをkintoneにて取得し、拠点間の購入部品価格を任意の通貨で一覧で比較できる仕組みだ。
各バイヤーが多大な時間をかけて比較していた作業がボタン1つで行えるようになり、大幅な時間削減に繋がった。
また、誰でも同じ作業ができることで属人化を排除することにも成功している。



基幹システム内の膨大な情報を手作業で収集。
各拠点で為替レートを独自に参照しながら調達価格を計算していたので、時間コストも大きかった。

各車種の部品と価格情報、為替レート情報をkintoneで取得・計算。各拠点が任意の通貨で調達価格を参照できるようになった。
バイヤーのデータ収集・集計作業時間を大幅に削減。

資材管理での活用事例

株式会社 神戸製鋼所

**紙台帳で運用していた在庫管理の
クラウド化をkintoneで実現**

業務内容

鉄鋼業・溶接業・アルミ/銅関連事業など

利用用途

QRコードを活用した、倉庫での資材関連の
在庫管理

課題 紙台帳の運用で、転記ミスや指示遅れなどの課題が顕在化

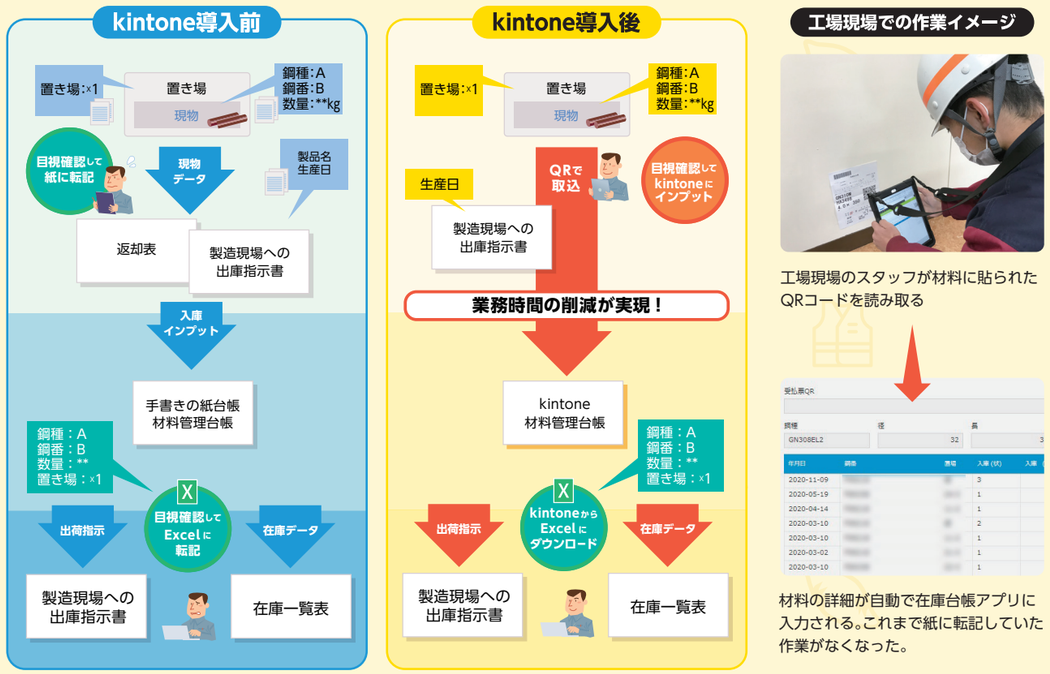
製造現場から返却された材料を目視して返却表に手書きしたうえで、入庫情報として管理していた紙台帳である材料管理台帳に転記していた。
出荷指示があれば出庫指示書を作成し、現場で製品設計と材料成分を照合したうえで出荷を行っていたが、すべて紙台帳をベースにした管理だった。
棚卸などの際に利用する在庫一覧表の作成にも時間がかかっており、作業者の負担が大きなものだった。

選定 使いやすく、内製化できる仕組みとして最適

運用保守の面で、簡単に画面レイアウトが変更できるなど内製化可能な仕組みが望ましいと考えた。
製造現場の方では、QRコードを材料に貼付し、棚卸業務を簡素化する仕組みが検討されており、そのQRコードを流用させてもらい、カメラで読み取ることで手入力せずにデータ登録できる仕組みにしたいと考えた。
読み取ったQRコードの情報を格納する仕組みとしても、kintoneであれば十分具現化できると判断した。

効果 週3.7時間、棚卸業務では7時間以上の工数削減

紙台帳による運用から脱却できたことで、返却表の作成や入庫作業時の転記作業がなくなり、出庫作業時にも指示書に必要な情報の多くをkintone上のデータから抽出することができるようになっている。
棚卸も一覧表作成の手間がなくなるなど、週単位では3.7時間の削減、そして半期ごとに実施される棚卸業務も7.75時間の削減に成功している状況だ。ちょっとしたケアレスミスなどを除けば、指示ミスはゼロになり、作業者の心理的な負担軽減にも貢献している。



工場現場での作業イメージ

工場現場のスタッフが材料に貼られたQRコードを読み取る

材料の詳細が自動で在庫台帳アプリに入力される。これまで紙に転記していた作業がなくなった。

調達部門での企業調査業務事例

ジヤトコ株式会社

回収までのスピードが約2倍向上し、約1人月の工数削減に成功

業務内容

変速機や自動車部品の開発と製造および販売

利用用途

他社からのアンケート回収

課題 取引先700社への調査票依頼～回収に膨大な作業コストが発生

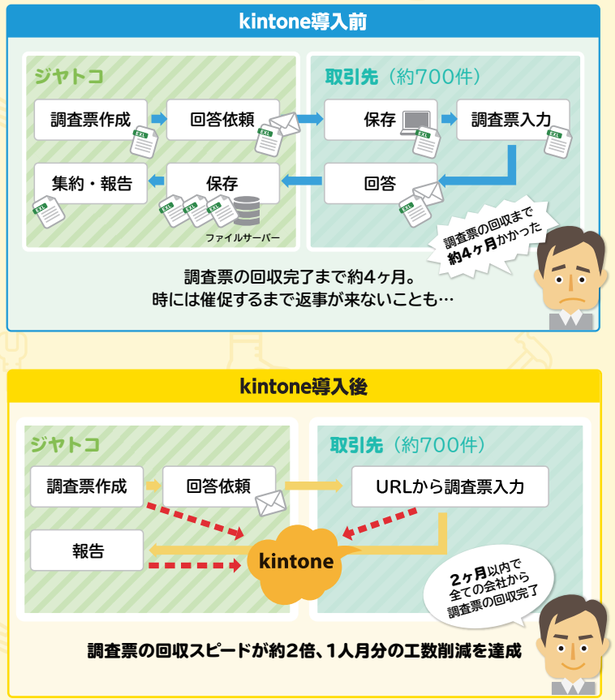
調達管理部では毎年、取引先宛に「企業調査票」という調査票(アンケート)を配布し、回答を集めるタスクが発生する。
Excelで作った回答票をメールに添付し、約700件ある取引先に1件ずつ送信していた。
窓口担当者が返信されてきたファイルをファイルサーバーに保存し、その後1つ1つファイルを開きながら内容を確認、集約、報告...という作業が発生していた。

構築 Webフォーム×kintoneで回答内容をkintoneに集約

企業調査票の質問項目をkintoneで作成し、回答を溜めるアプリを作る。
そしてそのkintoneアプリとフォームブリッジを連携させて回答用のフォームを作成する。取引先には、フォームのURLをメールで送信する。
あとは取引先からの回答を待つだけで、kintoneに自動的に回答が溜まっていく仕組みを構築した。

効果 回収スピード向上と工数削減 全社的な業務改善へ

回収までのスピードは以前に比べて約2倍早まり、工数換算すると約1人月分の工数削減につながった。
調達管理部のkintoneを活用した取り組みが上手くいったことを皮切りに、全社的にkintoneを活用して業務の効率化を図ろうという動きにつながった。
kintone自体の管理は情報システム部が主管しつつ、各部門でのアプリ作成などは、各現場メンバーに任せている。



調査票回収イメージ

Webフォームサービス「フォームブリッジ」を利用した調査票フォームURLを取引先に送信

フォームから入力された回答情報は、自動でkintoneに登録される

営業と工場間の情報共有事例

日機装株式会社

CRMやPLMなど業務に必要な環境づくりを全て内製化

業務内容

精密機器、産業機器の製造・販売

利用用途

案件管理、工程管理

課題 営業情報が工場に共有できていないことが大きな課題に

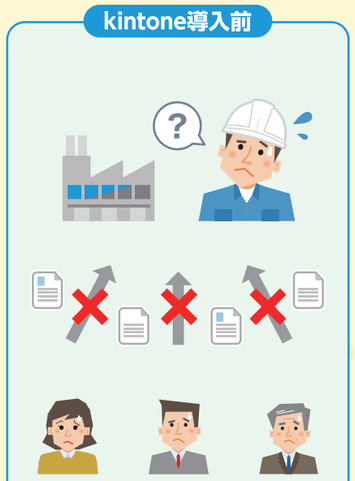
営業現場で得られる情報が工場側に伝わってこないことが課題の1つだった。
受注や失注の原因を見極めるなど技術部門としても関与できる余地が多くあるはずであり、まずは営業情報が工場側に共有できる仕組みづくりから始めようと考えた。
営業情報のやり取りは、以前はExcelやメールなどを通じて議事録や報告書など担当者それぞれのフォーマットかつ担当者間で工場側に伝えられおり、ルール化された手法とはなっていなかった。

選定 現場の要望をすぐ取り入れられるノーコードツール

現場の要望に沿った環境への改善が常に必要だと考え、内製化可能な仕組みが理想的だった。
他事業部ではSalesforceにて環境整備が進んでいたため、いったんはSalesforceも検討したものの、カスタマイズ性が乏しく、情報を入力する現場にとってハードルが高いと考えた。新たな仕組みの場合、どうしても現場は抵抗感を示しやすい。
できる限り簡便で容易に入力できるものとしてkintoneであれば展開しやすいと判断した。

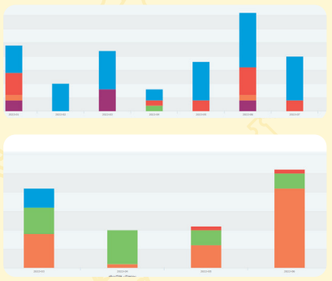
効果 年間9200時間の削減に成功した業務も

案件管理アプリから始まり、今では、精密機器関連の事業に関わる営業部から技術部、製造部、品質管理部、アフターサービス部のメンバー含めたおよそ150名全員がkintoneを活用しており、アプリの数は全体で800を越え、実運用では300ほどのアプリが日々の業務に利用されている。
紙による受注伝票処理をデジタルに置き換えたプロジェクトでは、アシスタントによる紙配布の準備や社内便の郵送時間も含め、年間で9200時間の削減を実現した。



利用イメージ

日々の営業活動が集まる案件管理アプリ



出荷数や業務改善の効果もグラフで可視化

生産進捗管理での活用事例

株式会社 クラボウインターナショナル

納期安定化と物流効率化を同時に達成

業務内容

海外でのアパレル生産と輸入

利用用途

バングラデシュでのアパレル生産管理

課題 バングラデシュでの超大量生産に課題

同社には大量のTシャツ生産のオーダーが舞い込むため、原価の抑制が極めて重要だった。Excelやメールを使う従来の生産管理方法では「どの品番がどんな状態にあるのか」把握が難しく、納期直前に生産できていないことが発覚するケースも発生した。
こうしたトラブルが起こると「高額な費用がかかる空輸」で解決する他なかった。

選定 「1つの画面」を日本と海外で同時に閲覧可能

営業本部はExcelや書類による管理を「日本とバングラデシュが同じ情報を共有できるシステム」に置き換えてはどうかと考えた。国外でのアパレルの生産には、オーダー情報を工場に伝える、材料を工場に送る、サンプルをチェックしてゴーサインを出す、量産(バルク)を指示する、問題のある商品に対処する、完成品をシップする、通関を通すなどの段階がある。
この流れをkintoneで行う構想をたてた。

効果 バングラディッシュで計画的な生産管理に成功

数百品番の状況がマネジメント専用アプリで可視化され、次に何をすべきか一目瞭然となった。問題のある商品への対策もシンプルになった。kintoneには品番ごとに専用画面があり、その品番の写真を画面で見ながら「コメント機能」を用いてバングラデシュと話し合える。結果、生産はスケジュール通りに進行するようになり、最大の目的だった空輸の必要が無くなった。
高額な空輸が月に1～2回も減った効果は大きい。生産管理が軌道に乗ったことでポジティブマネジメントができるようになった。

利用イメージ

Present Status	Portion1	Portion2	Portion3
Fabric in house	LAB DIP: -	FIT SAMPLE: -	S/O: -
Fabric in house	LAB DIP: -	FIT SAMPLE: -	S/O: -
Fabric in house	LAB DIP: -	FIT SAMPLE: -	S/O: -
Fabric in house	LAB DIP: -	FIT SAMPLE: -	S/O: -
Fabric in house	LAB DIP: done	FIT SAMPLE: done	S/O: done
Fabric in house	LAB DIP: done	FIT SAMPLE: done	S/O: done
Fabric in house	LAB DIP: -	FIT SAMPLE: -	S/O: -
Fabric in house	LAB DIP: -	FIT SAMPLE: -	S/O: -
Fabric in house	LAB DIP: -	FIT SAMPLE: -	S/O: -
Fabric in house	LAB DIP: -	FIT SAMPLE: -	S/O: -
Fabric in house	LAB DIP: done	FIT SAMPLE: done	S/O: done
Fabric in house	LAB DIP: done	FIT SAMPLE: done	S/O: done
Fabric in house	LAB DIP: done	FIT SAMPLE: done	S/O: done
Fabric in house	LAB DIP: done	FIT SAMPLE: done	S/O: done
Fabric in house	LAB DIP: -	FIT SAMPLE: done	S/O: done

視覚的に状況を確認でき、入力が簡単なオーダーマネジメントシステム。開発を依頼したサイボウズパートナーと相談し、「200種類もの商品の進捗を1画面で確認できるマネジメント専用アプリ」を核にシステムを構築した。

不具合報告・製造日誌での活用事例

PLATZ VIETNAM CO.,LTD

高品質高機能低価格を実現する攻めの品質管理に貢献

業務内容

在宅介護用ベッド製造

利用用途

不具合情報管理、製造日誌など

課題 手書きでの不良品管理に限界を迎えた

以前は、不良品の写真をデジカメで撮影し、事務所にもどって帳票を作成。
帳票を元に一覧表を作成し、対応進捗を都度記入していた。
帳票と一覧の両方を更新する必要があり、限界を感じていた。

効果 正確な不良品管理で市場クレームがゼロの月も

kintoneであれば、写真を撮って登録するだけで一覧が自動で作成されるので、報告業務の負荷が低減された。
1週間で70件以上の報告があがってくるようになり、出荷前に対策する攻めの品質管理を実現できた。

研究開発拠点における情報インフラとしての事例

株式会社資生堂

研究開発拠点の情報基盤として既存システムから移行

業務内容

化粧品やヘルスケア製品の開発、製造、販売

利用用途

Notes 移行、研究開発管理

課題 NotesやExcelでの運用が限界を迎え新たな環境を模索

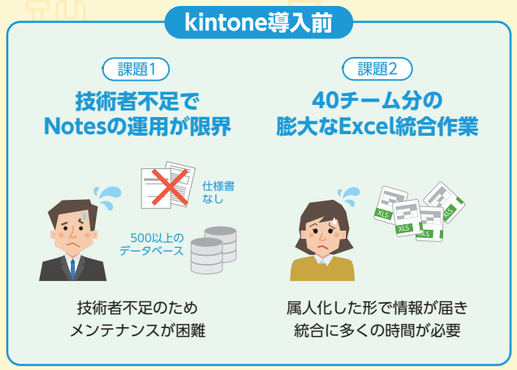
同社は 1990 年代後半からNotesで業務システムを構築していたが、グローバル化をさらに推し進めていくために数百ある Notes DB を海外へ向けて発信するためには、多くのコストと時間がかかってしまう状況にあった。
また、研究所内での研究テーマは、40チームから届くExcelシートを管理用シートに転記するなど情報を統合するだけでも多くの時間が掛かっていた。

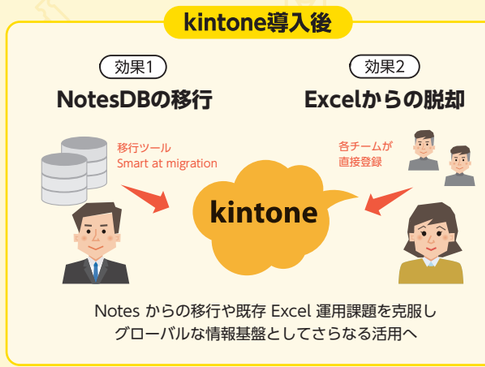
選定 Notes移行がスムーズかつ、Excel運用の課題を解決

Notes から移行する基盤については、各チームが必要に応じて手を入れることができ、かつすぐに公開できるというスピード感を重視。
これらの要件に合致したのが kintoneとNotesからの移行ツールだった。
また、研究テーマのExcel管理も、kintoneであれば、研究者全員がいつでも最新の研究テーマやその内容など詳細な情報が簡単に共有でき、過去の情報もきちんと蓄積、検索できることが評価された。

効果 30時間掛かっていた情報統合作業がゼロに

同社のkintone活用は研究テーマ用の Excel を kintone に置き換えることからスタート。各チームから収集していた Excel を統合するだけでも、以前なら30時間かかっていたが、今は直接kintoneに書き込まれるため統合作業はゼロ、情報管理の負担は大きく軽減された。
入力も早く、一覧表で見ると漏れている項目も一目瞭然でデータが来ていないチームの状況もすぐに把握できるようになった。





kintoneでデータ連携もスムーズに
基幹システムと連携しよう

kintoneを基幹システムのフロントとして使うことで、基幹業務のデータの利用がスムーズになります。
また、周辺業務をkintoneで管理すれば、情報を一元管理することでき、業務情報を分析させません。
基幹システムとkintoneを連携することで、業務全体の進行がより効率的になります。

基幹システムだけだと・・・

他部署/他拠点との情報共有が難しい

- 基幹/専門システムで賄えない業務があり、紙やExcelで二次集計している
- システムを操作できる端末や場所が限定され、工場等現場での確認が面倒になる

基幹システム＋kintoneなら

他部署/他拠点への情報共有を効率化

- 基幹/専門システムにある情報を二次加工していろんな見せ方ができる
- スマホやタブレットから入力できる

基幹周りのサブシステムをkintoneで構築しよう

生産管理システムとの連携事例

芙陽工業株式会社

CRMやPLMなど業務に必要な環境づくりを全て内製化

業務内容

産業車両部品(フォーク)製造

利用用途

製造現場での生産管理、設備点検管理ほか

課題 パッケージシステムに合わない“こぼれた”業務が顕在化

紙やExcelなどによる属人的な情報管理を脱却すべく、生産管理システムや動怠管理システムの導入などデジタル化を強力に推し進めてきた。
さまざまなツールを導入し、社内のIT化が進んでいった反面、それぞれの業務に個別の仕組みを導入したことで、システム間の連携が十分に行われず業務の無駄が顕在化した。
導入した各システムに乗り切らない“こぼれた”業務も見えてきた。

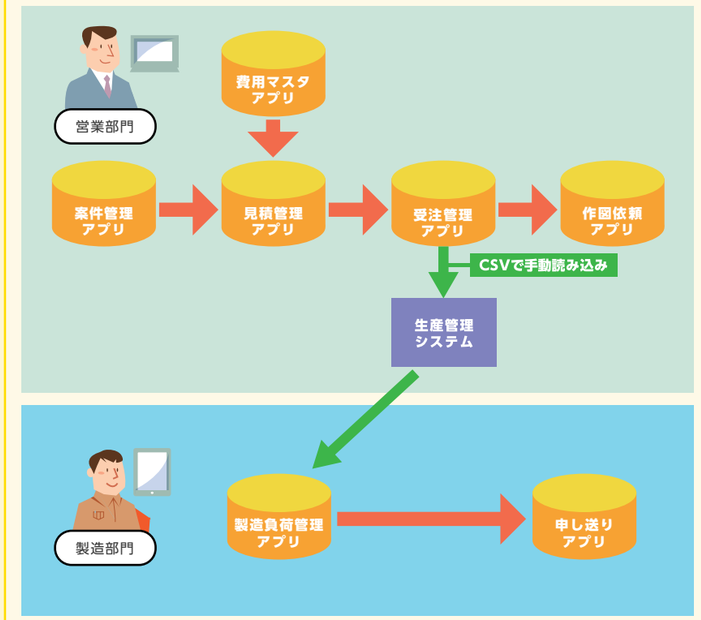
選定 自社特有の情報も管理できる柔軟性が決め手に

そんな折に注目したのがkintoneだった。
業務における具体的な活用を想定した事例や画面サンプルなどを確認し、すぐに現場での活用がイメージできたという。
従来のパッケージシステムには入りきらない、自社特有の情報も管理できる「kintoneの柔軟性」が決め手となり導入を進めた。

効果 紙での情報共有を刷新し、製造不具合トラブルをゼロに

製造現場では工程ごとに設置されたiPadにてkintone内の情報を閲覧し、必要な情報入力やコミュニケーションを行っている状況だ。製造現場担当が利用する「製造負荷管理アプリ」では、iPad上でいつでもその日の作業内容などが容易に閲覧できるようになっている。
営業部門が入力した情報をもとに生産管理システム上で計画された製造予定をCSVにてダウンロードし、kintoneに取り込む運用だ。

kintoneアプリ構成イメージ



利用イメージ

価格

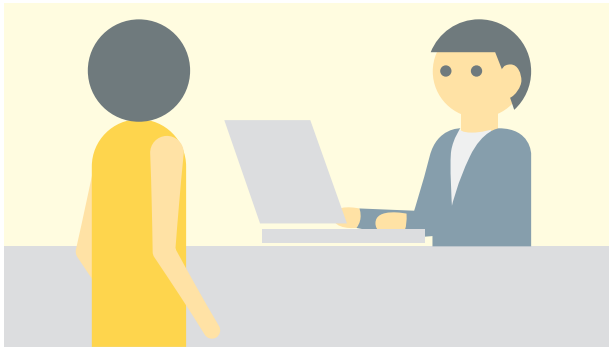
¥0 初期費用は無料

1ユーザー単位で契約できる
（※5ユーザーから契約可能）

1ヶ月ごとに契約更新できる

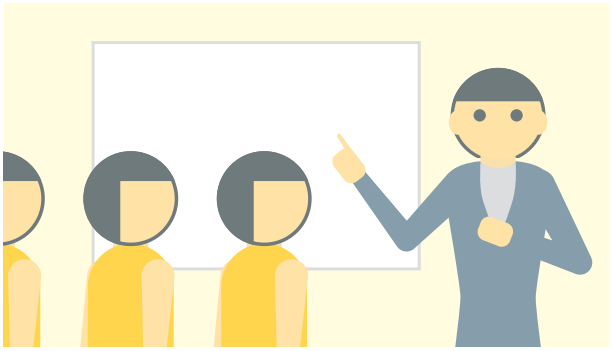
	オススメ スタンダードコース	ライトコース
価格（税抜き）	月額 1,500 円 / 1ユーザー （年額17,640円/1ユーザー）	月額 780 円 / 1ユーザー （年額9,170円/1ユーザー）
外部サービスとの連携、プラグイン、拡張機能	○	×
ディスク容量	5GB × ユーザー数	

キントーンが気になったら



オンライン相談

kintone導入の進め方や、
導入後の展開・活用について
ご相談を承ります。



オンデマンドセミナー

不具合報告をはじめとした
製造業での活用事例や
デモをご覧いただけます。

30日間無料でお試しいただけます kintone

cybozu

サービスに関するお問い合わせは、kintone Webサイトへ

https://kintone.cybozu.co.jp

※サイボウズ、cybozu、kintone およびサイボウズのロゴマークはサイボウズ株式会社の登録商標または商標です。
※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。
https://cybozu.co.jp/logotypes/trademark/

© Cybozu,Inc.

お問い合わせ先

2023年7月 KI-MFG-230719